

アクティブ・ラーニングを支える「マネジメント」とは？

～チーム M (級外職員) の取組～

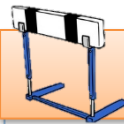
川西高等特別支援学校 佐藤 正高



校内研修のテーマ

【平成30年度の校内研修】
「家庭生活」の授業を取り上げ、アクティブ・ラーニングの実現を目指す！

*アクティブ・ラーニングとは…
川西高等特別支援学校における
「主体的・対話的で深い学び」



“チーム M”の取組

チーム M (マネジメントチーム) として…

- 授業を積極的に参観し、チームに還元
- チーム間の潤滑油として、職員全体をつなぎ、フォローアップする
- 職場環境を整備し、研修を後押し



実践① 授業を参観

積極的に授業を参観し、アクティブ・ラーニング (A・L) が成立していると思われる場面を、動画や静止画で記録し、全体で共有する。



実践② フォローアップ

- 授業内容、授業づくりの視点、教材・教具、支援方法、他チームの情報などの提示、提案
- 授業のねらいや目指す A・L の姿、そのための支援の工夫が示せる授業略案や、打合せのポイント分かるミーティングシートの提示



実践③ 職場環境の整備

- 教材・教具、学習環境の整備活動への予算付け
- 打合せ・授業準備等の時間の確保・設定
- 学級担任の負担軽減



成果と課題

- 級外職員の授業参観の機会増加
→授業づくりへの参加度アップ
- 学習環境・職場環境の整備促進



- ▽押し付けにならないフォローアップ、チームの主体性を尊重
- ▽負担軽減の限界

